プロダクトニュース

生産終了商品のお知らせ

OMRON

発行日
2026 年 11 月 2 日

No.2026086C ※1

生産終了商品	推奨代替商品
多軸モーションコントローラ「PMAC」 **CK3M-CPU1□1** **CK5M-CPU1□1** **CK3E-1□10**	多軸モーションコントローラ「PMAC」 **CK3M-CPU2□1※2** **CK5M-CPU2□1※2** **CK3E-2□10※2**

※1：関連プロダクトニュース（No.2026131A）ではNo.2026132Aを参照するようご案内しておりましたが、改訂にともない、参照先はNo.2026086Cに変更となりました。
※2：2027年4月発売予定（開発状況により変更となる場合があります）

■最終受注年月

2029年9月末

■最終出荷年月

2030年3月末

■修理対応終了年月

2037年3月末

■推奨代替商品をご利用いただいた場合の注意点

CK シリーズでは、EU Cyber Resilience Act（EU CRA）への対応ならびにセキュリティ強化および機能改善を目的として、ファームウェア V3.0 を搭載した新形式を発売し推奨代替品とします。
新形式では、セキュリティ機能、一部仕様、開発環境および操作方法が変更となります。従来形式から移行する際は、本案内に記載の主な変更点および注意事項をご確認のうえ、事前に十分な動作検証を実施してください。
従来形式は、新形式との併売期間を設けた後、生産を終了します。なお、従来は EU-CRA 施行に向けて CE マークを削除します。変更内容については、関連プロダクトニュース（No.2026131A）をご参照ください。

■生産終了商品との相違点

推奨代替商品形式	本体の色	外形寸法	配線接続	取付寸法	定格性能	動作特性	操作方法
CK3M-CPU2□1	◎	◎	◎	◎	○	○	○
CK5M-CPU2□1	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
CK3E-2□10	◎	◎	◎	◎	◎	○	○

◎：互換
○：ほとんど変更ありません／相似性の高い変更
×：変更大
－：該当する仕様がありません

■生産終了商品と推奨代替商品

生産終了商品	推奨代替商品
CK3E-1210	CK3E-2210
CK3E-1310	CK3E-2310
CK3E-1410	CK3E-2410
CK3M-CPU101	CK3M-CPU201
CK3M-CPU111	CK3M-CPU211

生産終了商品	推奨代替商品
CK3M-CPU121	CK3M-CPU221
CK5M-CPU131	CK5M-CPU231
CK5M-CPU141	CK5M-CPU241

■定格／性能

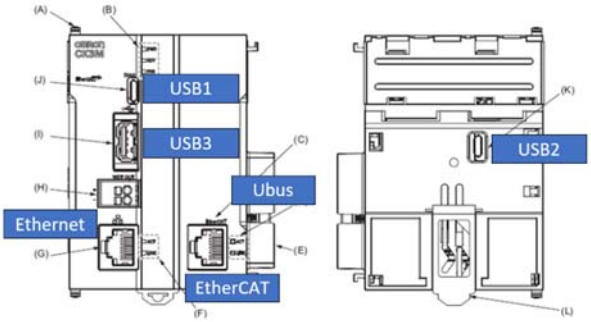
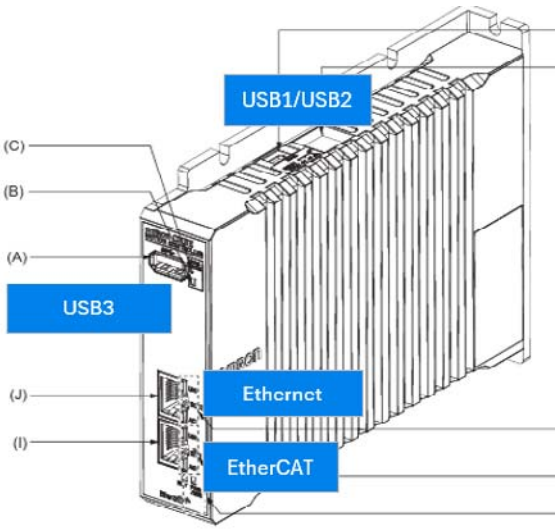
生産終了商品	推奨代替商品
アーキテクチャ ・32ビットアーキテクチャで動作します。	**アーキテクチャ** ・64ビットアーキテクチャで動作します。
性能仕様（CK3M／CK3E） ■CK3M ・メモリ メインメモリ：1GB ・Ethernet通信仕様 伝送速度：100Mbps ■CK3E ・メモリ メインメモリ：1GB	**性能仕様（CK3M／CK3E）** ■CK3M ・メモリ メインメモリ：2GB ・Ethernet通信仕様 伝送速度：1Gbps／100Mbps ■CK3E ・メモリ メインメモリ：2GB

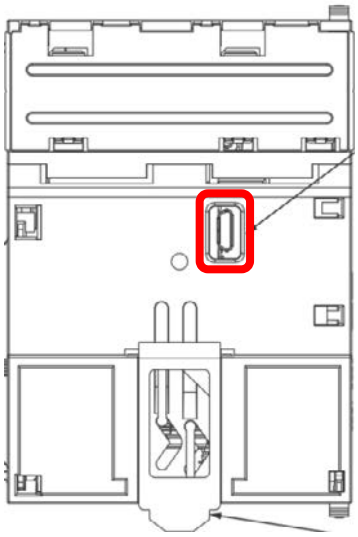
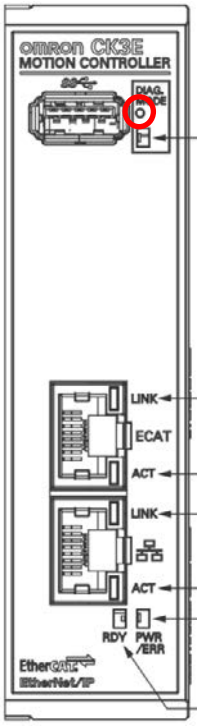
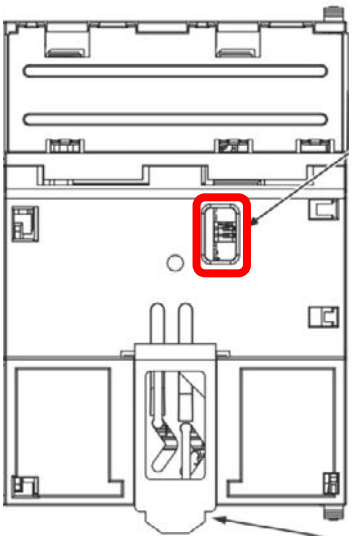
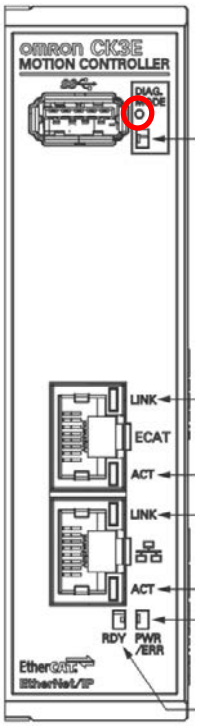
■動作特性

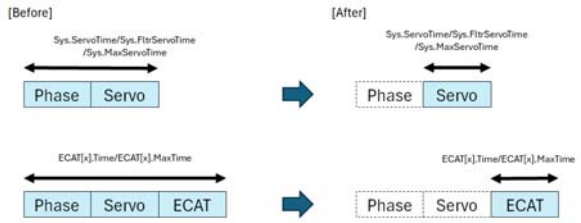
生産終了商品	推奨代替商品
動作モード ・PosixModeとKernel Modeを選択可能です。	**動作モード** ・PosixModeは廃止し、Kernel Modeのみとなります。 PosixModeの後継機能として、 ECAT[x].reducedCycleTimeを搭載します。 ECAT[x].reducedCycleTime=1に設定すると、ECAT入力データの更新タイミングが1周期早くなります。

■操作方法

生産終了商品	推奨代替商品
開発環境 ・PMAC IDEからコントローラへ接続し、設定・プログラム開発・モニタリングが可能です。	**開発環境** ・Motion Studio(2027年4月リリース予定)からコントローラへ接続し、設定・プログラム開発・モニタリングを行います。 ・PMAC IDEで作成したプロジェクトを使用する場合は、Motion Studioによるプロジェクト変換が必要です。
ファームウェアの更新方法 ・debファイルを使用してファームウェアの更新およびパッケージのインストールが可能です。	**ファームウェアの更新方法** ・ファームウェアの更新方法を、セキュリティを強化した新しい方法とします。鍵認証により、正規のファームウェアのみ更新できるようにし、なりすましや不正な改ざんを防止します。 ・debファイルを使用したファームウェア更新機能およびパッケージインストール機能はご使用いただけません。一般的なdebパッケージのインストール機能も、セキュリティ上のリスクを低減するため搭載しておりません。
起動時の改ざん検知 ・ファームウェアの改ざんを検知する機能はありません。	**起動時の改ざん検知** ・ファームウェアの重要データに対する不正な改ざんを検知するため、セキュアブート機能を搭載します。

生産終了商品	推奨代替商品
通信のアクセス制限 ・Ethernet通信ポートに対する通信の制限機能はありません。	**通信のアクセス制限** ・不正アクセスを防止するため、Ethernet通信ポートにパケットフィルタ機能を搭載します。IPアドレスおよびポート番号を指定し、通信を制限できます。
操作履歴の記録 ・コントローラに対する操作履歴を記録する機能はありません。	**操作履歴の記録** ・不正な操作やその操作記録の隠蔽を防止するため、監査ログ機能を搭載します。
バックアップ／リストア ・tar形式によるバックアップ／リストア機能が使用可能です。	**バックアップ／リストア** ・バックアップ／リストア機能を、セキュリティを強化した新しい機能に統合します。 ・tar形式によるバックアップ／リストア機能はご使用いただけません。
保守用USBポートの運用 ・USB2ポートを使用して、IDEによるデバイスイメージングを実行できます。 ・USBメモリに所定の名称のフォルダやファイルを保存し、USB3ポートへ接続することで、電源投入時にリセットなどの特定処理を実行できます。 ・シリアル入出力に対応するUSB1ポートから、ターミナル操作が可能です。   	**保守用USBポートの運用** ・デバイスイメージングに使用していたUSB2ポートを廃止します。これにともない、IDEを使用したデバイスイメージングはご使用いただけません。バックアップ／リストアは、新しい方式で実行してください。 ・USB3ポートへUSBメモリを接続して電源投入時に特定処理を実行する機能は廃止します。同等の操作を行う場合は、設定ソフトウェアであるMotion Studio（2027年4月リリース予定、以下Motion Studio）を使用して実行してください。 ・USB1ポートの入力機能は無効です。シリアル接続を使用したターミナル操作はご使用いただけません。出力のモニタリングはご利用いただけます。

生産終了商品	推奨代替商品
工場出荷時の状態への初期化 ・CKシリーズでは、メンテナンス用のUSBコネクタ（CK3M／CK5M）やメンテナンス移行ボタン（CK3E）があります。 ■CK3M／CK5M  ■CK3E 	**工場出荷時の状態への初期化** ・ファームウェアおよびパスワード設定を含むすべてのデータを工場出荷時の状態に戻すため、物理スイッチを搭載します。パスワードを紛失した場合などに、このスイッチを使用してコントローラをリセットできます。 ■CK3M／CK5M  ■CK3E 

生産終了商品	推奨代替商品
ログインおよびパスワードの管理 ・初回ログイン時のパスワード設定は必須ではありません。 ・ユーザの追加や変更、およびrootユーザでのログインが可能です。	**ログインおよびパスワードの管理** ・コントローラ購入後の初回ログイン時に、パスワードの設定が必須になります。パスワードを紛失すると、コントローラへ接続できなくなります。その場合は、新しい手順に従って、コントローラを工場出荷時の状態へリセットしてください。 ・セキュリティ強化のため、パスワードの最小文字数など、一部のパスワードポリシーを変更します。 ・ログインできるユーザは、あらかじめ登録された3つの固定ユーザのみになります。ユーザの追加や変更はできません。また、rootユーザでのログインもできなくなります。
コマンドおよびプログラムの実行権限 ・「system」コマンドやユーザプログラムから、root権限を必要とするコマンドの実行やリソースへのアクセスが可能です。	**コマンドおよびプログラムの実行権限** ・OSのシステムコマンドを実行する「system」コマンドのアクセス権限を、適切な範囲に制限します。root権限を必要とするコマンドの実行やリソースへのアクセスはできません。 ・ユーザプログラムのアクセス権限も、適切な範囲に制限します。特に、C言語で作成したBackground Program／CPLCプログラムでは、root権限を必要とするコマンドの実行やリソースへのアクセスができなくなる場合があります。
開発環境および対応コマンド ・従来のIDEからコントローラへ接続可能です。 ・ModbusAsciiコマンドを使用可能です。	**開発環境および対応コマンド** ・コントローラにはMotion Studioのみ接続可能です。従来の設定ソフトウェアであるPMAC IDEで作成したプロジェクトをご利用の際は、Motion Studioでのプロジェクト変換が必要です。 ・ModbusAsciiコマンドは廃止のため、ご使用いただけません。
EtherNet/IPのEDSファイル ・EDSファイルは、形式ごとの個別ファイルでの提供です。	**EtherNet/IPのEDSファイル** ・EtherNet/IP接続機器として登録する場合は、CKシリーズ共通のEDSファイルをSysmac Studioへ読み込み、対象デバイス一覧のドロップダウンメニューから、該当するデバイスを選択してください。
処理性能を示す変数の測定区間 ・下記の変数は、Phase／Servo周期の開始時点からの経過時間を測定しています。 Sys.ServoTime／Sys.FltrServoTime／ Sys.MaxServoTime ECAT[x].Time／ECAT[x].MaxTime	**処理性能を示す変数の測定区間** ・新形式では、対象となる処理区間のみを測定します。本変更は、各変数が示す測定区間の変更です。 

本案内に記載の仕様・価格は、発行時点のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
本案内では主に仕様上の変更点を記載しています。ご使用上の注意事項等、ご使用の際に必要な内容につきましては、必ずカタログ、仕様書、取扱説明書、マニュアル等をお読みください。
他社の推奨代替商品に関する情報は、弊社が本案内の発行時点で把握しているものです。当該推奨代替商品の生産終了時期、継続的な供給可否および仕様や適合性等、その他の詳細につきましては、お取引先様へお問い合わせの上、貴社にて当該推奨代替商品の採用をご判断ください。